

News Release

2024年11月29日

報道関係者各位

兵庫医科大学

手術支援ロボット「hinotori™（ヒノトリ）」による 傍大動脈リンパ節（PAN）郭清手術*に成功

兵庫医科大学（所在地：兵庫県西宮市、学長：鈴木 敬一郎）医学部 産科婦人科学の馬淵誠士主任教授らは、子宮体がんに対して、手術支援ロボット「hinotori™（ヒノトリ）」による傍大動脈リンパ節（PAN）郭清術に成功しました。ヒノトリを使用した PAN 郭清は世界で初めてです。子宮体がんは完全に摘出され、術後の合併症なく退院に至っています。

子宮体がんの PAN 郭清術は開腹手術または腹腔鏡手術として実施されてきました。手術支援ロボットを用いた PAN 郭清術という選択肢が増えることで、より精緻な手術が可能になるだけでなく、患者の身体への負担が軽減し、早期の社会復帰が期待されます。

*傍大動脈リンパ節(PAN)郭清術：傍大動脈領域（みぞおち付近）のリンパ節は、時に子宮体がんの転移先となります。従って、PAN 転移のリスクが高いと判断される症例には、子宮、卵管、卵巣、骨盤リンパ節に加え、PAN 郭清術が実施されます。ロボット支援下の PAN 郭清術は保険適用外であり、自由診療として実施しました。



「hinotori™（ヒノトリ）」の導入について

手術支援ロボット「hinotori™ サージカルロボットシステム」（以下、ヒノトリ）は、川崎重工業株式会社とシスメックス株式会社の共同出資により設立された神戸市の株式会社メディカロイドが開発した初めての国産の手術支援ロボットです。ヒノトリは、コンパクトな作りになっており、オペレーションアームは人の腕のようになめらかに動くことから手術をスムーズに進めるこ

とが可能です。

当院では、2024年8月から泌尿器科（前立腺がん・腎がんなど）や産科婦人科（子宮体がんなど）でヒノトリによる手術を開始し、下部消化管外科や上部消化管外科でも導入しました。今後は肝胆膵外科（11月頃）や呼吸器外科（時期未定）でも導入を予定しています。

配信先記者クラブ：大阪科学・大学記者クラブ

【本件に関するお問合せ】

学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課
兵庫県西宮市武庫川町1番1号
電話番号 0798-45-6655 ／ FAX 0798-45-6219
E-mail kouhou@hyo-med.ac.jp